



はじめに



茨城県社会福祉協議会では平成10年からはんどちゃんネットワーク運動を実施し、地域における生活課題を共有し、その解決に向け、人々がいつでもどこでも安心して生活するための地域や組織による支え合いの仕組みを、福祉の視点から作っていく「福祉コミュニティづくり」を展開しております。

はんどちゃんネットワーク運動では、誰もが気軽につどうことのできるふれあい・いきいきサロン（以下、「サロン」という。）を県内に広め、地域の皆さんが中心となって共に支え合い、安心して暮らせる地域社会をつくることをねらいとし、多様なサロン活動を応援しています。

その一環として、サロンの持続的発展及び新規開設促進を図るため「はんどちゃんネットワーク運動サロン拠点整備・活動拡大応援助成金（令和2年度分）」として、県内14カ所のサロン活動費の助成を行い、このたび、これらの活動内容を事例集としてまとめました。

コロナ禍が続く中で、感染対策を取りながら少人数での活動に変更したり、プログラムを見直すなど、各サロンで、苦心をしながら「つながり続ける工夫」をされています。皆さんの思いの詰まった1冊となりましたので、お目通しいただけたら幸いです。

最後となりましたが、本事例集の作成にあたり、御協力いただきました方々に感謝申し上げますと共に、多様なサロン活動が展開され、新たな人と人とのつながりが生まれていくことを祈念いたします。

令和4年3月

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

会長 森戸久雄